

- 問1 近年、日本の地方都市では、自動車への過度な依存を抑え、鉄道やバスなどの公共交通機関の拠点周辺に行政・福祉・商業などの機能を集約させる都市づくりが進められています。このような、徒歩や公共交通で日常生活に必要な機能を利用できる効率的な都市形態を何と呼びますか。
(2024年 東京都公立入試 類似)
1. ニュータウン 2. メガロポリス 3. コンパクトシティ 4. スマートシティ
- 問2 日本海に大きく突き出た能登半島を擁する石川県において、その行政の中心である県庁所在地として正しい都市名を選択してください。
(2017年 秋田県公立入試 類似)
1. 新潟市 2. 福井市 3. 富山市 4. 金沢市
- 問3 長野県などの高冷地では、夏でも涼しい気候をいかしてレタスなどの野菜を栽培し、東京などの大都市へ出荷しています。このような農業の仕組みとその利点について説明したものととして、最も適切なものはどれですか。
(2022年 熊本県公立入試 類似)
1. 標高が高い地域の冷涼な気候をいかし、平地の産地が品薄になる夏に時期をずらして出荷する抑制栽培が行われている。
2. 冬でも温暖な気候をいかし、他の地域よりも収穫時期を早めて、高い価格で販売する促成栽培が行われている。
3. 大消費地に近い立地をいかし、収穫したばかりの新鮮な野菜を輸送費を抑えて市場へ届ける近郊農業が行われている。
4. 広大な平坦地をいかし、大型の機械を導入して生産コストを下げ、大量の野菜を安定的に供給する土地利用型農業が行われている。
- 問4 静岡県では製紙・パルプ工業が全国有数の規模で発展していますが、富士市周辺でこの産業が発達した主な理由として、地形や自然環境の観点から説明したものととして適切なものはどれですか。
(2023年 千葉県公立入試 類似)
1. 富士山の豊富な伏流水（地下水）が利用可能であり、原料の運搬に便利な港にも近かったため。
2. 大規模な水力発電所が集中しており、アルミニウム精錬に必要な安価な電力が得られたため。
3. 台地が広がり、小麦の栽培に適していたことから、加工食品の製造が発達したため。
4. 原料となる良質な粘土が大量に採掘でき、古くから陶磁器の生産が盛んだったため。
- 問5 東海地方、特に渥美半島周辺で「電照菊」などの施設園芸農業が発達した理由と、その営農上の特徴を説明したものととして正しいものはどれですか。
(2019年 鳥取県公立入試 類似)
1. 夏の冷涼な気候を活かして、他の地域で収穫できない時期に野菜を出荷する抑制栽培を行い、輸送園芸を成立させている。
2. 黒潮の影響を受けた温暖な気候を活かし、温室などの設備を用いて出荷時期を調整しながら、大消費地へ向けて生産している。
3. 広大で平坦な土地を確保しやすいため、大型機械を導入して、小麦や大豆などを大規模に生産する土地利用型農業を行っている。
4. 季節風を遮る高い山々に囲まれた盆地の気候を活かし、扇状地を利用してブドウやモモなどの果樹栽培を専門に行っている。
- 問6 富山県の製造品出荷額等の割合を示した統計資料を確認すると、全国と比較して「化学」と「非鉄金属」の割合が非常に高いという特徴が見られます。この統計結果から読み取れる富山県の工業の特色について述べた文として、正しいものはどれですか。
(2023年 富山県公立入試 類似)
1. 臨海部に大規模な製鉄所と石油コンビナートが立ち並び、重化学工業の出荷額の大半を占めている。
2. 伝統的な売薬業から発展した医薬品製造と、豊富な水・電力を活用したアルミニウム加工が盛んである。
3. 原料を海外から輸入しやすい立地条件を活かし、輸入した原油を精製する石油化学工業が中心となっている。
4. 中京工業地帯の一部として、自動車部品や工作機械などの輸送用機械の生産に特化している。
- 問7 標高3000メートル級の山々が連なる日本アルプスは、日本の冬の気候に大きな影響を与えています。この地形がもたらす気候への影響について、最も適切な説明はどれですか。
(2024年 静岡県公立入試 類似)
1. 季節風完全に遮断するため、日本海側と太平洋側の両方において冬の降水量が極端に少なくなる。
2. 標高が高いため一年中気温が変化せず、周辺の平野部に常に安定した温暖な気候をもたらす。
3. 山脈の間を吹き抜ける風が弱まるため、中部地方の内陸部では冬でも湿度が高く維持される。
4. 冬の湿った季節風を高い山々がさえぎるため、日本海側に大雪を、太平洋側に乾燥した晴天をもたらす。
- 問8 日本の地形の特色について述べた次の文のうち、中部地方に位置する「木曽山脈」の説明として最も適切なものを選びなさい。
(2023年 埼玉県公立入試 類似)
1. 新潟県と群馬県の県境に位置し、季節風を遮ることで日本海側に大雪をもたらす山脈。
2. 中国地方の中央部を東西に走り、山陰と山陽の気候を分ける山脈。
3. 東北地方の中央を南北に走る、日本で最も長い距離を持つ山脈。
4. 飛騨山脈と赤石山脈の間に位置し、日本アルプスの一角をなす標高の高い山脈。
- 問9 静岡県の太平洋沿岸部の気候特色である「冬の気温が高い」ことや「日照時間が長い」ことを生かして、この地域で古くから盛んに行われてきた産業の組み合わせとして適切なものはどれですか。
(2023年 福岡県公立入試 類似)
1. 乾燥した気候に適した、小麦やライ麦の広大な農地での栽培
2. 茶の栽培や、温暖な気候を利用したビニールハウスによる施設園芸農業
3. 豊富な雪解け水を利用した、大規模な水田単作による稲作
4. 冷涼な気候に適した、キャベツやハクサイなどの高原野菜の栽培
- 問10 長野県は海に面していない内陸県であり、全国で最も多い8つの県と隣接しています。長野県の北東側に位置し、かつて富岡製糸場を中心に製糸業が発展したことや、現在では高原野菜の栽培が盛んなことで知られる隣接県を選んでください。
(2014年 和歌山県公立入試 類似)
1. 石川県 2. 群馬県 3. 栃木県 4. 埼玉県
- 問11 長野県において、リンゴやブドウといった果樹栽培が盛んに行われている理由として、この地域の気候の特色を説明したものととして最も適切なものはどれですか。
(2025年 千葉県公立入試 類似)
1. 内陸部特有の、夏と冬や昼と夜の気温差が大きい気候を活かしているため
2. 一年を通じて温暖で、黒潮の影響により冬でも霜が降りにくい気候であるため
3. 季節風の影響で冬の降雪量が多く、雪解け水が豊富なため
4. 梅雨や台風の影響を強く受け、年間を通じて非常に降水量が多い気候であるため
- 問12 山梨県の上野原市付近は、桂川（相模川）沿いに形成された河岸段丘が見られる地域です。この地域の地形図において、道路の北側に崖がそびえ、南側を鉄道の線路が並行して走っているような土地利用が見られる理由として、最も適切な説明はどれですか。
(2019年 東京都公立入試 類似)
1. 山地と河川に挟まれた平坦な土地が非常に限られているため、主要な交通路が密集せざるを得ないから。
2. 鉄道の脱線を防ぐため、風よけとして北側に人工的な高い壁を建設することが法律で定められているから。
3. 広大な平野部において、最短距離で都市間を結ぶために周囲の地形に関わらず直線的に線路を敷いたから。
4. 洪水の被害を避けるために、あえて居住地や道路を山の頂上付近に集中させているから。